

## 日本盲教育史研究会

# 第12回総会・研究会(第二次案内)

京都での総会・研究会は、4年ぶりのこととなります。この間、コロナ禍によって本研究会の活動も思うに任せない状況でしたが、皆様方のお力で何とか会を運営することができました。そのような中、昨年は規模を縮小しましたが、10周年の記念大会を行なえたこと、今回、総会決定を受けて準備してきた、「10周年記念誌」(主にミニ研修会の総集編)を発刊できますことは大きな喜びです。

今年は過去10年間の蓄積を踏まえた新しいステージの1年目となります。そこでテーマを「10年を経た盲史研、その新しい展開を」と定め、新たな視点で盲教育史を振り返ることにしました。記念講演では、四天王寺大学名誉教授の慎英弘先生に「『ともに生きる』視点で問い直す日本の盲人史」というような演題でご講演をいただきます。先生には第2回大会の時にも興味深いお話をいただきました。今回は「障害者の歴史試論」を中心に、新しい視点での盲教育史研究のお話がいただけるのではないかと楽しみにしています。

なお、研究発表は2題に絞りました。この研究会を通し、斬新な視点での研究が広がればと願っております。是非多くの皆様方のご参加により、今後に向けての飛躍の会になることを期待しております。

日時 2023年10月21日(土曜日) 10時から16時30分

会場 京都府立盲学校花ノ坊校地(高等部・多目的教室)

〒603-8302 京都府京都市北区紫野花ノ坊町1

主催 日本盲教育史研究会

後援(予定) 全国盲学校長会, 日本盲人福祉委員会, 毎日新聞社点字毎日

研究会テーマ「10年を経た盲史研、その新しい展開を」

講演 慎英弘氏(四天王寺大学名誉教授)

「障害者の歴史試論 <共に生きる社会をめぐる>」

報告 渡辺 譲 「日本盲教育史研究会10周年記念出版物について」(仮題)

発表 濱井良文 「点字毎日、100年の歩みをふまえて」(仮題)

深串 徹 「戦時体制下の台湾における視覚障害者(1937~1960s)」

### 当日の予定

- 10時 開場・受付開始
- 第12回総会 10時30分~11時 (会員のみ)
- 第12回研究会 11時~16時30分
- 11時 開会挨拶
- 11時10分~ 報告(渡辺)・発表(濱井)
- 12時~ 昼食休憩
- 13時~ 講演
- 14時30分~ 休憩
- 14時40分~ 発表(深串)
- 15時10分~ 協議
- 16時25分~ 閉会挨拶

### 注意事項

- 一 普通文字、拡大文字、点字の資料を準備します。準備の関係で、お申込みの際に使用文字をお知らせください。
- 一 聴覚に障害のある方のための情報保障も行います。お申込みください。
- 一 会場もよりの千本北大路バス停もしくは京都ライトハウス前バス停から会場までの誘導を希望の方は、必ず事前にお申込みください。
- 一 事前の申込者に、弁当(お茶付き)を用意します。**代金は当日徴収、1千円。**
- 一 新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類に変わり、海外からの観光客が急増しています。京都の宿泊については早めの予約が必要になると見込まれます。当日の駅から会場への移動も混雑が予想されますのでご注意ください。

- 参加申し込みは、8月1日に開始します。

**(申し込み期間 : 2023年8月1日から9月30日まで)**

- お申込みフォーム等を利用して早めにお申込みください。
  - ・ お申込みフォームは、盲史研公式サイト(<http://moshiken.org/>)から入ってご利用ください。
  - ・ 郵送 〒611-0013 宇治市菟道丸山1-70 日本盲教育史研究会事務局宛
  - ・ メール 日本盲教育史研究会事務局アドレス [moshijimu@moshiken.org](mailto:moshijimu@moshiken.org)
- お申し込みの際の記載事項

< 標 題 > 盲史研第12回総会・研究会参加希望
< 必須事項 > 1. 氏名 2. ふりがな 3. 住所 4. 電話番号かメールアドレス 5. 使用文字(普通文字, 点字, 拡大文字) 6. 会員・非会員の別
< 任意事項 > 1. 所属 2. 研究関心等
< 希望事項 > 1. 昼食弁当 2. 情報保障 3. 誘導
★希望事項につきましては、記載がない場合、対応できません。

